

第3回天塩川流域委員会 議事要旨

開催概要

日時：平成16年10月4日(月) 12:30～15:20

場所：土別プリンスホテル

出席者：清水委員長、石川副委員長、井上委員、岡村委員、黒木委員、
酒向委員、菅井委員、田苅子委員、橘委員、出羽委員、長澤委員
肥田委員、山口委員

主な意見

天塩川流域委員会の開催について

- ・ 約1年間流域委員会が開催されなかった経緯は何か。

天塩川水系河川整備計画資料について

- ・ 流域懇談会でまとめた提言が今回の資料にどのように反映されているのか説明してほしい。
- ・ 流域懇談会の議論を復習するのではなく、2回の流域委員会の議を経て提案された資料について議論するほうが建設的である。

(流域の概要)

- ・ 農作物収穫量の概要説明には、治水、利水等に密接に関連する水田とコメのデータを加えるべきである。また、流域の主要産業である畜産、酪農、牧草収量についての資料が必要である。
- ・ 洪水状況で、内水氾濫と外水氾濫を区別し、状況がわかるようにしてほしい。また、治水事業の進捗がわかるようにしてほしい。
- ・ サケ、サクラマスなどの遡上河川として、産卵床の分布や遡上数、捕獲数についての資料が必要である。

(河川整備基本方針)

- ・ 基本高水の算出についてもう少し説明してほしい。
- ・ 災害発生の防止又は軽減に関する基本方針の内容に、「流域の貯留・保水機能の維持・増進を図る。」と言った趣旨の文言を入れるべきである。

(治水)

- ・ 大臣管理区間と知事管理区間とで調整が図られているはずで、そこが分かる説明が必要である。
- ・ サンプル川にある指定区間外区間とダム予定とのかかわりを教えてほしい。
- ・ 名寄川の既往洪水について説明してほしい。
- ・ 流域懇談会の時に、土砂がダムに捕捉されるとの意見があったので、治水対策案のケース1に付け加えてほしい。
- ・ 治水対策案のケース2では、サケの産卵床を保全できないとなっているが、治水対策案の各ケースで掘削の方法を教えてほしい。
- ・ 「各治水対策案の概要」は当面30年の整備計画の概要であるが、基本方針の流量が流

れるためには、完成型にしなければならない。このときのトータルコストを説明してほしい。

- ・ 既往洪水における岩尾内ダム調節量について、説明してほしい。
- ・ ショートカット前後で流量などがどう変わるのか教えてほしい。
- ・ 各洪水対策案には河道掘削の他、堤防の整備を含むのか。
- ・ 流下能力図に示しているように、河川改修をすると直線的な流下能力になるのか。

(利水)

- ・ 正常流量の基準点を決めた理由を説明してほしい。
- ・ 遊水地案において正常流量が確保できない理由を教えてください。正常流量を確保できない場合の河川環境に与える影響がよくわからない。
- ・ 岩尾内ダムの下流に水が流れていない区間があるが、岩尾内ダムがもう少し柔軟に対応できれば、渇水時の対策ができるのではないかと。
- ・ 岩尾内ダムの弾力的管理の中には、農業利水についても検討する余地はあるのか。
- ・ 天塩川の観光を考えた場合、上流は水量がなく、下流は水量が豊富であるが、良い調整方法はないものか。
- ・ 正常流量は各ポイントの流量が確保されていれば良いというだけでなく、農業施設や利水施設があるときは、水深等を含めて保全することが必要である。

(環境)

- ・ 現状の河畔林はヤナギ林が多く、本来の自然環境とは変質しているので、河畔林の良い面だけでなく、悪い面も記載してほしい。
- ・ 魚道の整備箇所とその整備方針について教えてください。
- ・ サンプルダムの環境影響評価が完了しているということなので、内容を教えてください。
- ・ 旧川の蛇行復元や水質改善などについても検討する必要があるのではないかと。
- ・ 環境についても「配慮する」「考慮する」だけでなく、具体的な目標を設定できないか。
- ・ 治水対策に余裕があれば、環境に配慮するのはこれまでと変化がない。自然環境の保全・復元と治水・利水を調整する方策が必要ではないか。
- ・ 「川の駅」や岩尾内ダム直下からのラフティングが出来る環境整備について河川整備計画に盛り込んでほしい。
- ・ 主な旧川について、その機能を整理してほしい。
- ・ 環境整備の目標として、魚類の移動経路の確保程度の表現で良いのか。再生産を可能とするような河川環境の保全が最終的な目標になるのではないかと。
- ・ 流域の自然生態系の特徴や生物の多様性の保全・復元をベースにした上で、特定種、貴重種を見る視点が必要ではないか。
- ・ 天塩川には以前、チョウザメが生息していたという恵まれた環境を有していたことを記載してほしい。
- ・ サロベツ川については、関係機関と連携して施策を進めて行くことを記載してほしい。
- ・ 人と河川のふれあいについて、人が安心して川で遊べる水質を確保するという目標を掲げる必要があるのではないかと。水質についてはCODの資料も必要である。

(維持管理)

- ・ 倒伏した河道内の樹木は、洪水時に流出し下流の漁業等に被害を及ぼすので、適切な対策をとることが必要である。
- ・ 河道内樹木だけでなく、山の樹木も流出している。管理をどうするのか考え方があれば、説明頂きたい。

その他

(委員長提案)意見聴取会の開催について(案)

- ・ 開催時期は整備計画の議論がある程度進んだ時期に行うことで前回議論したことから、次回以降の方が良い。
- ・ 1回だけではなく、複数回開催してはどうか。
- ・ 対象者は、流域住民で良いのではないか。
- ・ 流域住民を中心として、流域外の方も排除しない方が良い。

議事結果

天塩川水系河川整備計画資料について

- ・ 委員会終了後に生じた意見・質問は清水委員長へ連絡する。
- ・ 各委員の意見・質問に対して、次回以降事務局より説明した上で議論する。

その他

- ・ 意見聴取会の開催回数は、一度開催し、その状況により判断する。
- ・ 現地視察会を10月末に予定し、日程調整等を行う。